

問合せ先

第八管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 三原 修一

TEL 0773-75-7373 (直通)

TEL 0773-76-4100 (内線2511)



第八管区海上保安本部

平成21年7月14日

7月22日に管内で見られる部分日食について

7月22日(水)に国内では46年ぶりとなる皆既日食が起こり、島根県から福井県にかけての第八管区管内の各地でも、太陽が三日月のように細く欠けて見える部分日食が起こりますので日食の開始時刻や状況についてお知らせします。

今回の部分日食は、舞鶴では太陽の約80%が欠けて見えますが、近年でこれほど大きく欠けるのは、1958年4月19日の部分日食以来51年ぶりです。

海上保安庁では、天体の位置を測定し、洋上で自船の位置を知る天文航法に必要な「天測暦」などの航海暦を刊行しています。

この航海暦には、太陽、月、惑星など天体の正確な位置情報を掲載するとともに、日食や月食の予報も掲載しています。

7月22日に起こる皆既日食は、インドから南半球のポリネシアにかけて、幅約230～260kmの細い帯状の範囲(皆既食帯)で起こり、今世紀最長の継続時間となっています。

国内の各地では、太陽の広い範囲が欠けて三日月状になる部分日食が起こり、皆既日食帯に近い場所ほど太陽の欠ける割合が大きくなります。

日食は西の地域から東方向に月の影が地上を移動するため、管内の島根県から福井県に至る地域では午前9時40分頃から欠け始め、午前11時0分頃に最も大きく欠けた後、午後0時20分頃に終了します。

管内主要都市における部分日食の状況は別紙のとおりです。

また、下記の第八管区海上保安本部海洋情報部ホームページでも管内各地の日食状況を掲載しています。

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/index.html>

なお、部分日食では、太陽が完全に月に覆われるわけではないため、皆既日食の際に見られる太陽コロナ、プロミネンス、ダイヤモンドリングなどを見ることは出来ません。

【観察時の注意事項】

部分日食は太陽の大部分が欠けた状態であっても、たいへん強い光と熱を放っているため、たとえまぶしくなくても肉眼や一般のサングラス、ススをガラスに塗した手製サングラス、CD、色の付いた下敷きなどを通して見ると目に重大な障害を与えることがあり、たいへん危険です。

部分日食の観察は、太陽観察用の専用フィルター等を正しく使って行ってください。

また、望遠鏡を用いて観察する場合も鏡筒の前面に絞りを取り付けるなど太陽観測のための正しい知識と慎重な操作が必要です。

日食の安全な観測方法は、下記の国立天文台ホームページに詳しく掲載されています。

<http://www.nao.ac.jp/>

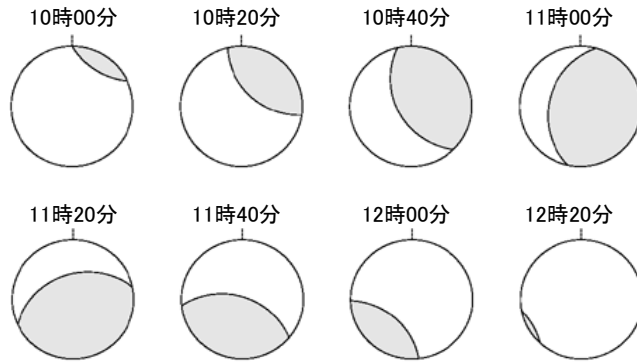
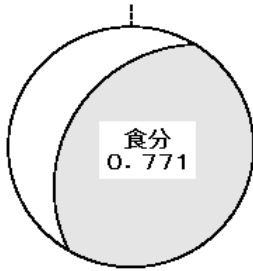
主要都市の日食状況

別紙

福井市

食の開始 9時49分
食の終了 12時24分

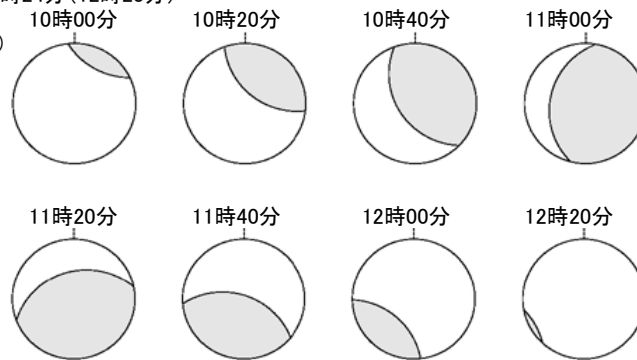
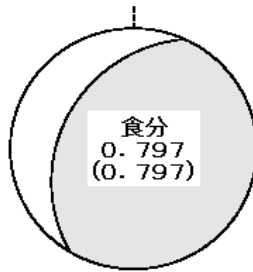
食の最大 11時06分



舞鶴市(宮津市)

食の開始 9時47分(9時47分)
食の終了 12時24分(12時23分)

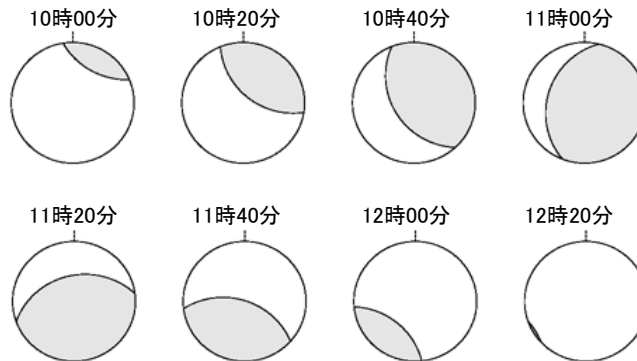
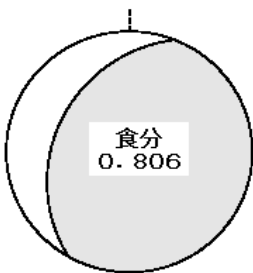
食の最大 11時05分(11時04分)



鳥取市

食の開始 9時45分
食の終了 12時22分

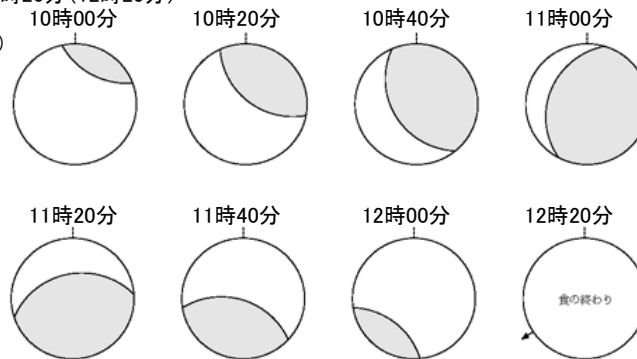
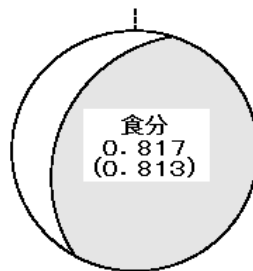
食の最大 11時03分



松江市(境市)

食の開始 9時43分(9時43分)
食の終了 12時20分(12時20分)

食の最大 11時00分(11時01分)



注: ↑の記号(図の上側)は天頂方向を示しています。

「食分」とは 太陽が月によって隠された割合のことで、太陽の直径に対して月の影が進入した割合を数値で表したものです。

欠け始め、食の最大・終了の時刻 と 食の最大時のイメージ

